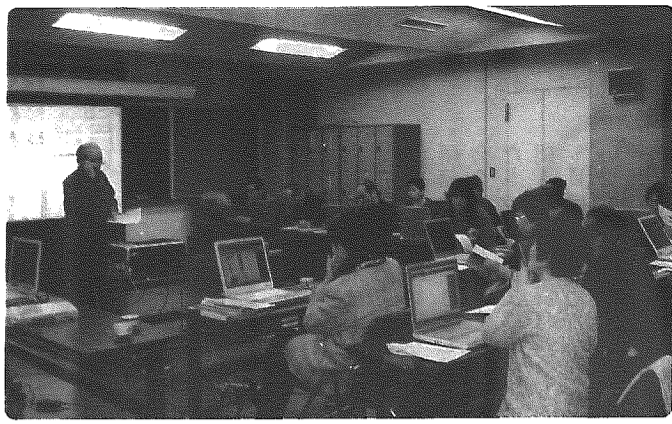


# 学んで・楽しみ・再発見!

～活力ある町づくり、  
公民館も応援します～



おれでも、できたんて! おもっしえ～!

今はIT時代。私たちもぜひ楽しみたいと二年前、健康と生きがいづくりをめざして教育委員会と公民館に協力を願い、中高年のためのパソコン教室を立ち上げました。講師は魅力的だし毎回のテキストもきめ細やかな心のこもった手作り版。その時ばかりは時間のたつのも忘れ、学ばしさを満喫しています。ただ、悔しいのはあの若い頃と

ボクでなんかいられない! やる気満々 中高年  
**活き生きパソコン(会員23名)**  
代表 白井 己致子

合併を目前に、これからの小須戸をなんとかして活気づけようという住民主体の「小須戸まち育て支援」プロジェクトチームが立ち上がりました。町を元気にするやる気のある団体に活動資金を提供するものです。公民館を活用し自主的に活動しているこの二団体も積極的にこの企画に参加。今後の活動が楽しみです。



発行 小須戸町中央公民館  
〒956-0101  
新潟県中蒲原郡小須戸町  
大字小須戸117番地  
TEL (0250) 38-2234  
FAX (0250) 38-3041  
編集 公民館報編集委員会

そんなとき「小須戸まち育て支援事業」に出会い、趣旨に賛同し即、応募しました。一月二十三日新潟日報「日曜ひろば」にも載りましたが、ありがたいことに助成金五万円を頂くことができたので、必要としていた会専用のプリンターを一台購入しました。念願かなっていいよ生涯学習を楽しむ爺婆たちのボランティア活動のスタート。そ

でもすごいと思いませんか。最初の頃マウスを持つ手が震えポイントがなかなかつかめなかったのに、今ではキーボードにも慣れステキな名刺や手書きの絵入りカレンダーからチラシまで作るのです。このように互いに学び合える場が身近にあることを感謝しています。ですが、何年かから生きられるかわからないこの身体、せめて元気なうちに学んだことを少しでも地域に還元できないものか、未熟な技術を向上させる意味でもそのチャンスを待っていました。

違い、反復練習をしながら頭にちゃんとインプットしたはずの情報が悲しいかな一週間もたないことです。でもすごいと思いませんか。最初の頃マウスを持つ手が震えポイントがなかなかつかめなかったのに、今ではキーボードにも慣れステキな名刺や手書きの絵入りカレンダーからチラシまで作るのです。このように互いに学び合える場が身近にあることを感謝しています。ですが、何年かから生きられるかわからないこの身体、せめて元気なうちに学んだことを少しでも地域に還元できないものか、未熟な技術を向上させる意味でもそのチャンスを待っていました。

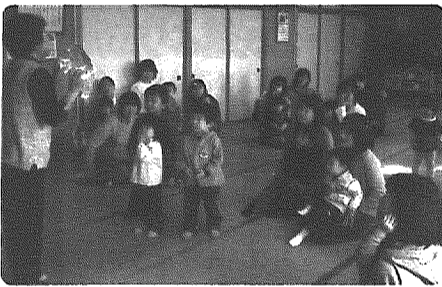
の第一歩に、今年入学をひかえた長兄に鉛筆など小物に貼る名前シールのプレゼントはいかがなものかと。PTAや町内会や老人会でもお役に立てれば幸いです。

## ちょこっと一言 (203)

**防災の日は何時も**  
昨年から連続して風水害が集中し見舞った、この日本に再びこの上、中越地震が襲った。災害は更にインド洋沖の大津波へと息つく間のない大災害にとまどうばかりです。  
当小須戸町の信濃川沿いに住む住民として思いますが、最近降る雨の



大川前二丁目  
**笠原 洋子 さん**  
量が多く怖れと不安を感じておられますのは、私一人ではないと思います。肝心の避難場所を定めるのに見当が付きません。中越地震の時に感じたことですが体の不自由な夫をどのように守ればとテイルの下で息をこらして地震の治まるのを待ちました。この機会に近くの皆様といろいろ話し合いが必要と思いましたが、



牛乳パックのお人形で遊びました

## 子育て支援 一住み易い町づくりのお手伝い 「リズムで遊ぼう!」 代表 井浦 ちひろ

公民館を拠点に毎週金曜日子育てサークルとして活動している私達リズム遊びの会「リズムであそぼ」は「小須戸まち育て支援事業」に応募し、助成金を頂くことができました。私達の会をもっと多

くの人に知ってもらおうことを目標に、昨年暮れには公民館で、新津の子育て支援施設「育ちの森」の方によるパネルシアター・手遊び・親子遊び等を開催しました。  
一月、二月の二回「新潟リハビリテーションアカデミー」の佐藤ユリ子さんをお迎えし、親子遊びを教えてください、お茶を飲みながらの子育て中の悩み相談会を開催し親子共々楽しいひとときを過ごすことができました。

就園前の幼い子を持つ親からは、近所に遊ぶ友達がいないとか、いても外で出会うことが少ないし、冬や夏には子どもを遊ばせる場所がなく一日家においてビデオを見せて過ごしたり、買い物へ出てあちこち行っているときよく聞きます。いずれも親子一対一で過ごし、複数の子や大人と交流する経験が少ないまま入園の時期を迎える子が増えています。私はまだ十分にコミュニケーションをとれない乳幼児期から、親が間に入っておもちゃのやり取りをしたり、顔を見合わせ笑いあったり、時にはぶつかり泣いたりすることが、その後集団生活を送っていく上での基礎になる大切なことではないかと思っています。

## ほめたり、なぐさめたりで、あったかムード ～輪投げ練習風景～

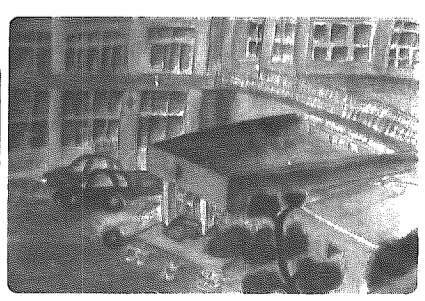
「だって、へいらねえな」、「もっさり」、「がんばったな」様々な声が飛び交う矢代田地区の輪投げクラブの練習風景。現在どの地区でも三月に開催される高齢者連合クラブ主催の「輪投げ大会」に向け、練習が白熱しています。冬場は寒いからといって、家には心ももちこまる

ストレスから一時でも解放されることになると思っています。近隣市町村を見ても、子育て支援が活発な地域は、住民もパワーがあり生き生きとしているように感じます。これからは多くの親子に参加して頂き、できれば公民館の一角にでも、自由に遊んだり、絵本を眺めたりできるプレイルームが常設されることを期待しています。頂いた助成金は貴重な資金であることを心にとめて「子育てして住み易い町づくり!」をキャッチコピーに私達も次の計画実行の作業に頑張っています。



けんとうつけて。ほらやっとな!

「あれ! 電話相談」  
教育相談をはじめ、いろいろな電話相談に応じます。  
◆三月の相談日  
四日(金) 十一日(金) 十八日(金)  
◆受付時間  
午後一時～五時  
◆電話番号  
三八一三〇〇  
◎お問い合わせは、  
◎秘密は、固く守ります。



銅賞「学校」横山美優 (小須戸中2年)

このように、自発的自主的に学んでいる地域住民の活動を公民館は積極的に応援し、豊かな暮らしをつくりだす地域の拠点になればと努力しております。  
合併後はこれまで以上に小須戸大好き人間が丸になつて「住みづけたいまち」小須戸を目指しましょう!

### 第33回 芸展入選作品の紹介



自己主張した作品を心掛け制作しました。

入選「七言二句」



文字の原点である甲骨文字、本当に難しかった。

入選「七言二句」

坂井清龍さん【書道】  
(彰)

坂井スイさん【書道】  
(芝香)



しゃべって、笑っていつも健康

## 地域のグループ紹介

# みずぼる会

### よりあなたかな、心の結びつきを目標して

なくては可愛そうだということとで先輩が誘ってくれ「嫁会」として誕生しました。

よい嫁をめざし毎月一回近くの集会場に集まって様々な研修を続けてきました。この会をやさしく見守り育ててくださった姑様に感謝する会を開き、姑様に喜ばれました。

目標の方も「よい嫁」が「よい母」になり、今は「よい姑ババ」になるよう心掛けています。みずぼる会となくとも楽しく三十九年間、とても楽しくためになる会なので一度も休むことなく続けています。

十名の会員も平均年齢が七十歳を過ぎていますが、皆さんの肌のつやもよく「固い心の結びつきだけは長く続けていきたい」と語っていました。

### 会員を募集します

川柳を始めませんか。毎日の暮らしを詠んで、惚け封じ

日日の暮らしを、ユーモアと洒落や風刺で十七文字に詠んで「川柳会」は頭の体操をしております。皆さんもことば遊びをぜひ一度見に来て下さい。

初心者も鉛筆一本で楽しめます。日時 毎月第一・三木曜日 午後七時より九時

会場 中央コミュニケーションセンター 申込み 「川柳会」高橋まで ☎38-2465

### 公民館主催の教室・講座のご案内

◎おはなしのせいかいへ  
日時 二月十九日(土) 午前十時半～十一時

会場 ふれあい会館(和室) 対象 幼児から大人まで 読み手 おはなしほけつと

《来月の予定》  
日時 三月十九日(土) 会場 中央公民館

### 公民館よりお知らせ

～ぜひご注目ください～  
次回3月号の公民館報では、新年度からスタートする「各種教室・講座の参加者募集」の記事を掲載いたします。みなさん、どうぞご期待ください。

### スポーツ大会結果

白根近郷空手道選手権大会  
一月二十二日(土) 白根カ  
ルチャーセンターで行われ、小須戸空手道会の選手が多数入賞されました。

【三・四年生男子 組手の部】  
三位 木村拳也(新津市)

【三・四年生女子 組手の部】  
一位 加藤麻美子(小須戸)

【五・六年生男子 組手の部】  
一位 高橋孝祐(本町五)

【五・六年生女子 組手の部】  
二位 新井田恵里(新栄町五)

【五・六年生女子 形の部】  
二位 吉井優希(文京町) 三位 加藤こはる(白根市)

### カメラ散歩

1月に行った公民館活動を紹介します!!



「学校開放講座」 サッカールール覚えて、孫と遊ぶぞ!



「吹奏楽合同演奏会」 聴衆100人名曲に酔う～



「ひよこ学級」 子育て、忙中閑あり、お茶教室。

### 向こう三軒両隣に支えられて

二年程前の新潟日報の日報抄欄に、ある老夫婦のあまりに悲しい結末の記事が掲載され、我が身を当てはめてみて、愕然とした思いがある。

この老夫婦の男性は、老衰により、いりり端でねむる様にして死んだ。その傍らに痴呆の老女が「おじいさん、おじいさん。ごはんを食べましよう。」と呼び続けていたが、間もなくその老女も倒れてしまった。

この二人が発見されたのは、一週間も過ぎての事だったという。何ともあわれで悲しい記事であった。私は言いたいのではない悲しみと共に、近い将来の我が身を想うのである。

この二人が常日頃から、隣近所と声をかけ合うような生活であったなら、せめて救急車を呼ぶとか、病院への手配くらいは、やってもらえたであろうに。幸い私は町内の皆さんに大変親しくさせて頂いているので、妻と二人で、三日旅行しても植木の水やりや、急な連絡もやって頂ける。

日常生活の中でお互いに相談に依りたり、助けてもらったりする事ができるのは、何よりも有り難いと思っ

我が家のような高齢者二人の家庭だけでなく、子や孫と同居の家庭であっても、日常の中で隣近所と気軽に声を交わし合い、助け合う関係を持って生活できる地域づくりを、もう一度みんなで心掛けてみてはどうでしょうか。人間関係疎外の時代だからこそ、隣近所が親しい関係を築く必要があると思うからです。

新町三 馬場高志

### 「今、子どもたちは」(101)

#### 雪遊びだーいすき

雪の晴れ間をぬって、子ども達は外へまっしぐら。寒さなんて何のその、犬のように雪の中を走り回る子、転げ回る子、雪玉を作り投げ合う子、などなど。

雪玉を作っていたA子ちゃん、雪玉を転がしはじめました。どんどん大きくなって転がらなくなった時、スーッと友達に参加。それを見ていた男の子達も雪玉作りを始めた。大きな雪玉が二個完成。さあ、その雪玉の一個を載せようとするのですが、大きいうえに重くてなかなか載りません。試行錯誤の結果「先生！手伝ってー」の声。「うんとこしょ、どっこいしょ」と雪玉を載せて、目と口には



どうです!「雪だるま」かっこいいでしょう!

### 文芸欄

ひと日はや過ぎゆく余生枇杷の花 佐久間久子

除夜詣鐘打つころ聴くころ 五十嵐香月

冬の虹生き甲斐といふ淡きもの 丸山虚秋

大大根畑の神に残しけり 中野太浪

年明けて日本の四季展鑑賞す 長井武雄

冷え渡る新月雲を纏いけり 東樹ちよ

鉄塔を残して山の眠りけり 丸山栄子

松過ぎの石畳掃く杜守り 井本松子

枇杷の花一町毎に消火栓 高橋みどり

七転び八起き失敗バネにして 小林みのる

子の玩具内緒に使いねじが飛び 渡辺信子

失敗はお互い様で夫婦老い 我妻清作

鍋焦がし匂いが届く応接間 増井都留

枝や石が見つからなかったの で、色画用紙をくつつけ、はい出来上がり。友達と気持ちと力を合わせて完成させた世界に一つしかない雪だるま。作り終えた達成感で顔が輝いて見えました。